

長野県食と農業農村振興計画（平成19年9月策定）の概要

資料 1

農政部

第1章 計画策定の基本的な考え方

- 1 策定の趣旨 「長野県食と農業農村振興の県民条例」（議員提案条例、平成18年4月1日施行）の基本理念を踏まえ、食と農業・農村の持続的発展を目指し、方向性を指し示す
- 2 策定年月 平成19年9月
- 3 計画期間 平成20年度～24年度（5年間）
- 4 進行管理 毎年度、進捗状況について、食と農業農村振興審議会及び地区部会から意見聴取の上、県議会に報告し公表

第2章 食と農業・農村をめぐる情勢

＜長野県の現状と課題＞

- 農業者の減少・高齢化の進展による担い手不足
- 産地間競争の激化、販売価格の低下、産出額の減少
- 農村環境、食育、地産地消への関心の高まり
- 農地の減少、耕作放棄地の増加
- 農業水利施設の老朽化

＜我が国の社会情勢の変化＞

- 少子高齢化と人口減少社会の到来
- WTO農業交渉・EPA交渉など国際化の進展
- 環境問題・地球温暖化の顕在化
- 価値観・ライフスタイルの多様化

第3章 食と農業・農村の目指す将来像

～ 基本目標 **農が織りなす 元気な信州農業** ～

◆食と農の結びつきを深め、農業が21世紀にふさわしい魅力ある産業として発展し、活力ある農村づくりの実現を目指します。◆

＜経済努力指標＞

将来像の実現に向け本県の食と農業・農村の振興の経済的な努力指標として、良質な農産物の安定生産を示す農産物産出額と、食品・観光の連携等による農業の付加価値的な生産を示す農業関連産出額からなる農業農村総生産額を設定

区 分	H17年（基準年）	H24年（目標年）
農業農村総生産額	2,899億円	3,000億円
農産物産出額（米穀・果実・野菜・きのこ・畜産等）	2,735億円	2,800億円
農業関連産出額（水産・農産加工・観光農業等）	164億円	200億円

第4章 食と農業・農村の振興に関する施策の展開方向

基本方向1 多様な担い手が元気に活躍する農業・農村

＜施策展開＞

- 次代の農業を担う担い手の確保・育成
- 地域農業を支える仕組みづくりと活力ある組織・経営体の育成
- 女性・高齢者・団塊の世代の能力発揮ができる場づくり

＜主な達成指標（H17年→H24年）＞

- 新規就農者 141人/年 → 200人/年
- 認定農業者 6,012経営体 → 7,200経営体
- 集落営農 182組織 → 470組織

基本方向2 競争力のある付加価値の高い農畜産物を生産する農業・農村

＜施策展開＞

- 需要的に確に対応した水田農業の推進
- 競争力の高い園芸産地づくり
- 安全でこだわりのある畜産物づくり
- 農業者の所得確保を目指した新たなマーケティング戦略の推進
- 農業を支える技術開発と効率的な普及

＜主な達成指標（H17年→H24年）＞

- りんご3兄弟作付 545ha → 1,560ha
- アパガオツツカ品種作付 0ha → 150ha
- 信州黄金シャモ飼育羽数 0羽 → 5万羽
- 信州サーモン生産量 38t → 150t

基本方向3 消費者と「食」の絆を結び豊かな食生活を育む農業・農村

＜施策展開＞

- 食育と地産地消の推進
- 魅力ある農業・農村ビジネスの創造
- 食の安全・安心確保の推進

＜主な達成指標（H17年→H24年）＞

- 食育ボランティア数 6,165人(H18) → 1万人
- 学校給食での県産農産物利用率 32.7% → 40%
- 農産加工グループ 238グループ → 248グループ

基本方向4 環境と調和し地域が輝く元気な農業・農村

＜施策展開＞

- 環境と調和し自然と共生する持続性の高い農業
- 農業・農村の多面的機能の維持・発揮
- 農とふれ合う都市農村交流

＜主な達成指標（H17年→H24年）＞

- 化学農業使用量 87kg/ha → 70kg/ha(2割減)
- EPA認定人数 1,297人 → 5,000人
- 遊休農地解消面積 H23年までに2,930ha
- 都市農村交流人口 514,000人 → 540,000人

基本方向5 働きやすく住み良い農業・農村

＜施策展開＞

- 農産物の安定生産に向けた基盤づくり
- 住み良い農村づくり
- 災害に強い農村づくり

＜主な達成指標（H17年→H24年）＞

- 農業水利施設の更新延長 34km → 55km
- 中山間地域での農道等整備延長 98km → 120km
- 農業用ため池の改修 23箇所 → 50箇所

第5章 重点戦略

戦略1 農業・農村を支える多様な担い手づくり戦略
 地域農業を支える新規就農者・認定農業者・女性農業者の育成・確保と、集落営農の推進

戦略2 競争力の高い園芸産地再構築戦略
 オリジナル品種・新技術の導入、施設化推進など、産地間競争に打ち勝つ園芸産地づくりの推進

戦略3 食と農業農村ビジネス・販売戦略
 消費者のニーズを的確に捉え、第6次産業化など農業経営の多角化による新たな事業の創出

戦略4 環境にやさしい農業・農村づくり戦略
 環境と調和した持続的な農業の推進と消費者が求める安全安心な農産物生産体制の確立

戦略5 元気な中山間地域づくり戦略
 農村資源の活用、観光との連携、効果的な鳥獣害・遊休農地対策などの取組による中山間地域の活性化の推進

第6章 地域別の発展方向

地域の農業農村の発展を目指し、県下10地域ごとの地域の特性を踏まえ、具体的な取組・目標を明らかにした地域農業の活性化計画

- 【地域別の発展方向】
- 1 地域の概要（現状と課題）
 - 2 地域の重点推進方策・達成目標
 - 3 推進方策展開フロー

第7章 関係資料

農業・農村の見通し、計画策定の経過など